



順天堂練馬病院と地域を結ぶ

順天堂練馬病院ニュース

順天堂大学医学部附属練馬病院は、わが国の最高水準の医療を提供することをモットーに平成17年7月1日に開院しました。順天堂医院などで活躍中の新進気鋭の医師をはじめとして、順天堂の看護を支えている看護師達、そして技師、薬剤師、事務職員が当院に赴任し、日夜最新・最良の医療を実践することを目標に努力しております。

No.1

2005.12

順天堂の理念は、人ありて我れあり、他を思いやり慈しむ心「仁」の追求であります。さらに『不断前進』の精神のもとに、PET医療や斬新な院内感染対策を整えた安心かつ安全な医療を実践することです。そしてさらに、順天堂らしく美しく温かみのある空間で“心と体の癒し”の場を創造することです。

開院六カ月目を迎えて

『不断前進』の精神を忘れず、 心優しき医療を 地域にお届けします。

当院の目標とする医療は、練馬区

民の要望の強い小児、救急・災害、がん診断・治療そして循環器救急、脳血管障害などの重要な疾患に対する高度な医療を提供することです。

練馬区（人口68万人）は、他区に比べて大きな病院が少なく病床数が不足しており、特に小児医療体制の整備が喫緊の課題でした。当院では、小児内科・外科の医師が協力して、総合小児科を形成し、2次救急を含めた対応を行っています。さらに、救急災害医療については、日本の救急災害のリーダーとなっている医師達が24時間・365日可能な限り対応しております。

また、当院は、地域災害拠点病院として関東大震災級の地震にも対応できる免震構造で建設されており、1、2階ホールを中心に災害時

医療を展開する予定です。

そして、がん診断・治療については、PET・リンアック・MRIなどは、最新の医療機器を配備し、内科・外科・放射線科が1つのチームとなり患者さまに視点を当てた医療を提供しております。

昨今、高齢者には思いかけず、入院後に発熱などの感染が生じる事が世界的に大きな問題となっております。順天堂大学は文部科学省の21世紀COEプログラム（日本の大学に世界最高水準の研究教育拠点を形成し、世界をリードする人材を育成するプロジェクト）に選ばれ、患者さまに安全で安心して頂ける院内感染対策医療を構築しています。

また、病院全体で一人一人の患者さまについて全人的医療を行うために、電子カルテを導入いたしました。これにより、いつでも、どこで

も、患者さまの医療情報が共有化できます。このようにして各専門医によるハイレベルな医療を通して医療の質は格段に向上しました。電子カルテの性格上、一人当たりの診療時間が少々長引き、外来診療等でお待ち頂くこともあるかもしれませんが、地域の医療機関と緊密な連携を図ることも可能となり、患者さまにわかりやすい情報、病気に対する理解度を深めていただくことのできるシステムですので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。

今後共、「不断前進」の精神を忘れず、職員全員が心をひとつにして、練馬区を中心とした西東京の地域住民の皆さまのために温かい気持ち、慈しむ心をもって、全人的医療を実践してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



順天堂練馬病院院長
佐藤 信紘

総合診療・性差科

科長 山本 信彦



大野 雅央 山本 信彦
杉原 栄一郎 堀越 昇

総合診療・性差科は、総合内科の窓口的な役割をしています。

とくに、初診時に紹介状をお持ちにならなかった方、どの専門科を受診すればよいのかわからない方、健康診断などで異常を指摘されて再検査や精密検査が必要な方を中心に外来診療を行っています。発熱、倦怠感など全身的な症状が続いてお困りの方も、どうぞご相談ください。

当科受診後さらに専門医による診察が必要と判断された場合には、各診療科外来をご紹介させていただきます。

常勤スタッフは、杉原栄一郎助手、山本信彦助手、大野雅央助手の3名ですが、化学療法センターの堀越昇客員教授も外来診療に携わっています。

また、杉原は呼吸器内科とくに炎症性肺疾患、山本は消化器内科とくに上部・下部消化管内視鏡の専門医でもありますので、呼吸器系・消化器系症状のある方や検査希望の方も、外来担当日をご確認の上、受診していただければと思います。

消化器内科

科長 大蔵 隆一



稲見 義宏 大久保 裕直 山科 俊平 井草 祐樹
小林 修 大蔵 隆一 榎本 信行

消化器内科は、胃、腸、肝臓、胆嚢、膵臓などの多くの臓器の疾患を担当しています。

検診で二次検診を指示された方、腹痛などのおなかの症状のある方はどうぞご遠慮なく受診なさってください。お待ちしております。

大蔵の専門は胃疾患です。胃潰瘍のH・pylori除菌治療や、早期胃癌の内視鏡治療を得意としています。内視鏡検査に関するご相談

をお待ちしています。

小林の専門は大腸疾患です。大腸ポリープ、早期癌の内視鏡治療や、最近増加している炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）の治療の実績も豊富です。

榎本、山科の専門は肝臓疾患です。B型、C型肝炎のインターフェロン治療に定評があります。最近のペグインターフェロン治療についても、お気軽にご相談ください。

大久保の専門は肝胆膵疾患です。肝臓癌、胆石、胆嚢炎の治療を得意としています。このほか、稲見、井草の若さいっぱいの医局員が病棟、外来、検査室でお待ちしております。

呼吸器内科

科長 児玉 裕三



吉見 格 児玉 裕三

現在呼吸器内科医は常勤医2名と外来非常勤医2名の合計4名で日々の診療に従事しています。我々の取り扱う疾患の主なものは、気管支喘息、肺炎、いわゆるタバコ病といわれる慢性閉塞性肺疾患(COPD)、肺癌などです。実際に外来診療で受診される最も頻度の高い症状としては、咳があります。

大半は感冒後に遷延するものが多いのですが、中には咳が主体の喘息(咳喘息)という病気であったり、肺結核という感染症や肺癌が隠れていたりすることもあります。その他、痰が多い、息切れが強いという症状の方も来院されます。これまでの喫煙習慣によって生じるCOPDという病気であったりします。

また、症状がなくても健康診断で胸部異常陰影を指摘され、再検査で見える方も多くいらっしゃいます。いたずらに不安を持つことの無いように配慮しております。もちろん必要に応じてCT検査なども予定します。

我々は患者様一人一人に、親切でわかりやすい説明をモットーに日々の診療を行っております。長引く呼吸器症状の方や、その他お困りの方は、是非一度御相談頂きたいと思っております。

呼吸器内科 / 腎・高血圧内科

診療スタッフ紹介

膠原病・リウマチ内科

科長 木村 桂



木村 桂

膠原病やリウマチ性疾患は患者様にとって非常に難解で必要以上に不安を抱くことが多いことから、分かりやすい言葉で適切な情報を提供できるように努めています。全身性エリテマトーデスや関節リウマチをはじめとした膠原病、リウマチ性疾患の治療を目的とした診療だけでなく、診断確定や併発症の有無に関する検査なども行います。必要な場合は順天堂大学附属順天堂医院などの関連施設と連携をとっていきます。

膠原病・リウマチ性疾患・関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、シエーグレン症候群、皮膚筋炎・多発筋炎、強皮症、混合性結合織病、ベーチェット病、成人stiller病、抗リン脂質抗体症候群、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発動脈炎、ウェゲナー肉芽腫症、アレルギー性肉芽腫性血管炎、高安静脈炎、側頭動脈炎、など。



腎・高血圧内科

科長 前田 国見

「物言わぬ臓器・腎臓と成人病の 基本となる血圧管理をいたします」

腎・高血圧内科では、以下の問題やお悩みをお持ちの患者様の受診や相談をお受けしています。

1. 蛋白尿や血尿がでる
2. むくみがある
3. 血圧が高い
4. 尿酸が高い
5. 腎臓が悪いといわれている
6. 透析が必要といわれている
7. 透析のためのシャントの具合が悪い

腎臓は、「物言わぬ臓器」といわれています。腎臓病は無症状で進行し末期に至ると透析治療が必要になります。現在全国で約25万人の透析患者さんがいらつしゃいます。透析治療に至らないように適切な治療（食事療法、薬物療法）を早期から行うことが大切です。

高血圧も実は、腎臓と密接な関係があります。高血圧は、すべての成人病にとつて大きな危険因子になります。頭痛や肩こりといった症状がない場合でも、心筋梗塞や脳卒中の危険が高まります。健康診断などで指摘を受けましたら早めに受診・ご相談下さい。私たちは、患者様一人ひとりの生活習慣にあわせた、無理なく長く続けられる治療を指導しております。また必要に応じた検査や入院治療も行っております。どうぞお気軽にご相談下さい。

ひとこと
アドバイス

検査の異常を
指摘された場合には
すぐにご相談ください。

診療スタッフ紹介



田中 裕一

前田 国見

福田 裕光

血液内科

科長 平野 隆雄

血液内科では、白血病や悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの悪性腫瘍、再生不良性貧血や骨髄異形成症候群、鉄欠乏性貧血などの貧血症、特発性血小板減少性紫斑病など出血を起こす病気などの患者さんを診ております。診断をつけるには、血液を調べたり、血を造っている骨髄に針を刺して骨髄液を採取したりあるいは腫れているリンパ節を切つたりします。

治療法は病気の種類によつて大きく異なりますが、造血剤や抗癌剤、抗生物質、輸血などが用いられます。

当科では入院期間を短くして出来る限り外来で治療を続け、生活の質(QOL)を高める努力をいたします。

最近では、血液の悪性腫瘍や重症の再生不良性貧血に対し骨髄や血液中の造血幹細胞を採取し移植する造血幹細胞移植という方法が広く行われるようになり、私どもの科では本院、或いは他の専門施設と連携してこのような治療に対応しております。



平野 隆雄

安田 肇

膠原病・リウマチ内科 / 血液内科

糖尿病・内分泌内科

科長 木下 潤一郎

本気で糖尿病を克服したい方を全力で支援します。

生活習慣病の代表といえる糖尿病は誤った生活習慣が原因で発症します。ですからその誤った生活習慣を自ら改めない限り、糖尿病がもたらすさまざまな問題（失明、血液透析に至る腎不全、心筋梗塞、脳梗塞や壊疽などの合併症）を根本的に解決することはできません。

木下 潤一郎



中嶋 邦博

当科では日本糖尿病学会認定の専門医2名が診療にあたっておりますが、「誤った生活習慣を改めて、本気で糖尿病を克服したいと願う方々を全力で支援していきたい」と考えています。ですから「今までと同じようにお酒は飲み続けたい」、「タバコを吸っていたい」、「いつでも満腹になるまで食べたい」とお考えの方には残念ながらそのご希望に沿うことはできません。誤った生活習慣を改めた上で、種々の薬剤やインスリンなどの手段を駆使し、糖尿病による合併症を予防することに全力を尽くしています。自らの手で健康を勝ちとりたいとお考えの方を歓迎いたします。

脳神経内科

科長 佐藤 健一

脳神経内科は脳梗塞やパーキンソン病などの脳の器質的な障害を扱う診療科です。脳梗塞の予防としては、高血圧症、糖尿病、高脂血症のコントロールが重要となります。一度、脳梗塞をされた方も再発を予防するためにはこれらの治療（食事制限、塩分制限、内服治療、適度な運動など）をしっかりと行ってください。また、禁煙も

小児科

科長 新島 新一

地域の小児科医との連携を密に、小児救急をはじめ小児科全領域に対応できるスタッフをそろえました

小児期および思春期領域すべての分野をカバーし、急性疾患から慢性疾患まで対応しています。対象となる病気は神経・筋疾患（運動発達の遅れ、言語の遅れ、熱性けいれん、てんかん、筋力低下、脳血管障害、髄膜炎、脳炎）、呼吸器疾患（気管支炎、肺炎）、心疾患（先天性心疾患、川崎病）、アレルギー性疾患（アトピー性皮膚炎、気管支喘息、アレルギー性鼻炎）、膠原病（SLE）、皮膚筋炎、若年性関節リウマチ）、消化器疾患（嘔吐、下痢、血便、食物アレルギー）、肝胆膵疾患（黄疸、肝炎、膵炎）、腎疾患（腎炎、ネフローゼ症候群、水腎症、膀胱尿管逆流現象、夜尿症）、血液疾患



福永 英生 鈴木 竜洋 青柳 陽 藤森 誠
新井 勝大 新島 新一 大友 義之 渡邊 直樹

（白血病、悪性リンパ腫、再生不良性貧血、血友病、血小板減少性紫斑病）、内分泌疾患（クレチン症、糖尿病、低身長、思春期早発症）、心身症（神経性食欲不振症、不登校）など多岐にわたります。

午前中は一般外来、午後は専門外来（神経、内分泌、腎臓、膠原病、血液腫瘍、消化器、アレルギー、心臓など）および乳児検診、栄養相談、予防接種外来を行っています。入院病床は25床（内NICU3床）で、完全看護の乳幼児室からお母様の付き添いができる母児同室、男女別の学童室、感染症に対応できる隔離室があります。緊急の場合は昼夜を問わず24時間対応の救急外来にご連絡ください。

重要です。

脳梗塞の症状は、手が動かない、感覚がわからない、しゃべりづらい、などの症状が突然起こります。典型的な手足が動かないといった症状は右または左のどちらか一方に起こることが多く、頭痛は伴わないことが多いです。もともと危険因子のある方で、これらの症状を認めた方は脳梗塞の可能性が高いのですぐに診断にいらしてください。



舟邊 さやか

佐藤 健一

メンタルクリニック

……科長 石塚 卓也

専門診療科との連携を前提としたメンタルケアを行う内科系外来

メンタルクリニックは現在常勤医1名の体制で診療を行っています。

主な診療内容は身体の疾患で入院された患者様の不眠・不安・抑うつなどのメンタル的な問題に対して、他科との連携をとりながら治療を行っています。

このため、現在は人員などの関係からメンタルクリニックの一般外来は行っておりません。

将来的には総合病院の中のメンタルクリニックという特徴を生かして、脳機能検査などを行う「認知症専門外来」や「うつ病専門外来」などの専門性を高めた外来を開設する予定であります。(開設時期は未定)



石塚 卓也

整形外科・スポーツ診療科

……科長 野沢 雅彦



久保田 玲子

松田 圭二

野沢 雅彦

金 勝乾

池上 隆司

整形外科・スポーツ診療科では関節疾患を中心に、現在5名の常勤医で診療にあたっています。特に小児から成人までの股関節疾患や膝関節疾患の治療に重点を置いており、保存的療法から最先端の手術療法まで行っております。特に変形性股関節症や膝関節症などの退行性疾患で輸血が必要な人工関節手術や骨切り術を行う場合、自己血輸血を用いて対応しております。膝の前十字靭帯損傷などを中心とするスポーツ外傷もスポーツ整形外科を専門にした医師が診療に従事しておりますし、関節リウマチなどの多発性の関節疾患の治療も膠原病内科の先生方と協力して積極的に行っております。

私たち整形外科医は適切な保存療法や手術療法により、できるだけ早期に患者様の運動機能の回復および改善が得られるように努力することを目標とし、日々の診療活動を行っています。

総合外科

【消化器外科】

副院長

児島 邦明

科長



北島 俊顕

浦尾 正彦

児島 邦明

藤澤 稔

根上 直樹

私どもの外科は現在、消化器・一般外科と乳腺外科、小児外科の3領域の外科医で構成されています。平成18年春の練馬病院フルオープン時には、ここに呼吸器外科医が加わり、10年以上の経験をもつベテランの外科専門医があつまり、地域のみなさんに最新で最良の安心できる医療を提供してまいります。

がん対策は高齢化社会を迎えた日本社会の喫緊の課題です。なかでも胃がん、大腸がん、肺がん、乳がんは男性、女性を通じて、もつとも多いがんです。手術治療はもちろん、腫瘍内科医、内視鏡専門医、放射線診断医、放射線治療医、病理診断医、薬剤師、看護師など、順天堂練馬病院の総力を上げて、皆さまの治療に全力であたります。普段のかかりつけ医の先生と協力して、お一人お一人のライフスタイルにあった治療法をさがしていきたいと願っています。

総合外科

【乳腺外科】

副院長

児島 邦明

科長

女性の罹るがんで、乳がんは第1位です。今後も増え続けていくことが予想されています。乳がんは女性のがんの中で唯一自分で見つけることができるがんで

脳神経外科

科長

菱井 誠人



堀中 直明

菱井 誠人

脳神経外科は、脳、脊髄、末梢神経などの病気に対し、外科的治療を施す診療科です。日々の診療では、最新鋭の診断・治療機器を駆使して、脳脊髄の腫瘍、血管病変（くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞など）、外傷、先天性の疾患、脊椎の変性疾患、水頭症などの治療に従事しております。

順天堂練馬病院の脳神経外科では、手術用ナビゲーションと手術用顕微鏡を連携した患者さまに負担の少ない脳腫瘍手術、脳脊髄の血管病変を切らずに治療する血管内治療、治療可能な認知障害として注目されている正常圧水頭症の治療などに力を注ぎ、レベルの高い、かつ地域のみなさまのお役にたてる診療を行います。

治療方針を定める際には、患者さまやご家族に充分なエビデンスや情報を差し上げ、どの様な治療が患者さまに最も有益かをよく相談申し上げたうえで方針を定めております。頭痛、手足の脱力・しびれ、見え方・聞こえの異常、歩行の障害などに気づかれた際にはご相談ください。

す。自己検診がもっとも重用です。月に1回、日にちを決めて自己検診をおこない、おかしいと思ったら乳腺外科においでください。8割以上が良性です。早期診断・早期発見で95%以上の方の乳がんは完治します。

乳房温存手術、センチネルリンパ節生検、リンパックによる最新の放射線治療、外来化学療法、腫瘍内科医、乳がん病理診断医、乳腺専門の女性放射線技師、マンモトーム生検などなど、最高のスタッフが最新の設備を駆使して、欧米のスタンダードな治療をおこなっています。ピンクリボンをご存知ですか？練馬の地から乳がんが亡くなる方がいなくなるようお役に立ちたいと願っています。



総合外科

【小児外科】

……科長 浦尾 正彦

手術を必要とする子供の病気は何でも迅速対応いたします。

小児外科で最も一般的な疾患はソケイヘルニア、包茎、停留嚢丸などですが、実際には脳、心臓、骨格以外の非常に広い範囲の外科疾患を担当します。特に消化器や、泌尿器など腹腔内の病気に対しては、侵襲が少なく、美容的にも優れている腹腔鏡手術を積極的に取り入れています。

当科のモットーは、

- 1) 患者さんに安全な医療を提供する、
 - 2) 快適で合併症の少ない医療を提供する、
 - 3) 近隣の医療機関と密接な連携をとる、
 - 4) 常に迅速な対応を心がけることです。
- 皆様の信頼を得、小児医療に貢献できるよう、誠心誠意がんばりたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

皮膚・アレルギー科

……科長 比留間 政太郎

当科では皮膚・アレルギーに関するトラブルならどんなことでも扱っています。アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、乾癬、脱毛症、水虫といった日常の疾患から、水疱症、膠原病、皮膚悪性腫瘍といった外来では治療が困難な疾患まで、何でもご相談ください。ひとりで悩まずに、まずは受診されることをお勧めします。難治性疾患は、御茶ノ水の順天堂本院とも連携して診療に当たります。当科では、凍結療法、炭酸ガスレーザー装置、全身型紫外線照射装置などを装備し、治療には、患者様に治療方法を十分に説明し、患者様と相談しながら治療を選択するように心掛けています。実際の治療では、地域で開業をされている先生方とよく連絡を取って、迅速な対応を図れるよう心掛けています。「皮膚病は、順天堂練馬病院、皮膚・アレルギー科に来れば治る」をモットーにしています。

ひとこと
アドバイス

皮膚病のことは、ひとりで悩まずに、何でもお気軽にご相談ください。



矢口 均
二瓶 望

小原 宏之
比留間 政太郎

泌尿器科

…科長 花澤 喜三郎



江藤 怜子 小松 亜也子 高田 直美
花澤 喜三郎 高島 秀夫

寒くなり、頻尿、尿失禁等の排尿に関する症状が増える季節になりました。朝晩寒くなってきましたが、頻尿、尿失禁でお困りではありませんか。寒くなるとトイレに行く回数が増え、場合により尿失禁を生じることもあります。軽度の頻尿や尿失禁は病気とは思わずに放置される方が多く、病院を受診されるときには日常生活にかなり困り受診される方が多いようです。

頻尿や尿失禁の原因は1つではなく、いろいろな原因があります。正しい診断、治療（薬物、体操、手術等）により多くの方で症状が改善します。頻尿、尿失禁でお困りでしたら早めに医療機関を受診されてはいかがでしょうか。泌尿器科に受診されることをお勧めします。また、生活の欧米化に伴い前立腺腫瘍の患者さんが年々増加しています。前立腺腫瘍の一番の効果的治療法は早期発見です。50歳を過ぎた男性の方は年に1度の前立腺腫瘍マーカー検査を受けられることをお勧めします。前立腺腫瘍マーカーが上昇されている方は精密検査を受けてください。

泌尿器科 / 眼科

診療スタッフ紹介

耳鼻咽喉・頭頸科

…科長 片岡 文志



戸田 恵 片岡 文志

耳鼻咽喉・頭頸科は耳鼻咽喉頭疾患全般にわたって診療を行っています。

具体的には中耳炎や副鼻腔炎・アレルギー性鼻炎・扁桃炎などの炎症性疾患、聴覚・味覚・嗅覚などの感覚器の障害、鼻咽頭の腫瘍性病変などです。

また検査機器等不十分な面もありますが、徐々に整備しております。

また難治な疾患・特殊な疾患に関しましては、他科の先生方や順天堂関連施設を中心に連携を密にして対応させて頂いています。

耳鼻咽喉頭疾患は小児から成人・年配の方まで様々な疾患があり、最近はストレスや生活習慣の変化により症状が多岐にわたってきております。残念ながら現在でも治療の難しい疾患も数多くありますが、インフォームド・コンセントを重視しておりますので、一度ご相談頂ければと思います。



眼科

科長 横山 利幸

平成17年11月現在、眼科は月曜、水曜、金曜の午前中に新患及び一般外来患者様を受け付けており、そのほかの時間は血管撮影、精密視野検査などの特殊検査やレーザー治療、小手術などの特殊な治療を予約で行っております。これにより外来では緑内障の精密検査や、糖尿病網膜症などの眼底疾患に十分な対応をとるよう心がけております。また、再来患者様の専門外来として水曜の午後には小児眼科外来を設けており、斜視、弱視や目の先天的な病気を専門に診察しております。

手術は火曜、木曜に行っており、成人では主に白内障や網膜剥離、糖尿病網膜症など、小児では斜視や逆さまつ毛などの手術を入院にて行っております。

眼科の検査には大変時間のかかるものも多く、患者様には心ならずもお待ちさせることがあります。診断、治療、手術機器は最新のものをとりいれており、多くの眼疾患対応できるものと考えております。



馬淵 綾香 大槻 薫 重松 愛 中馬 良子
金本 真澄 横山 利幸 関本 慎一郎 上園 真理

放射線科

科長 京極 伸介

当科は放射線診断・核医学・放射線治療の3部門からなり、放射線医学の全領域を担当しています。練馬病院内では主として各診療科からの依頼により患者様の検査・治療を実施しております。

放射線(画像)診断部門では、一般X線撮影・消化管造影検査・マンモグラフィ検査・CT検査・MRI検査を行っており、血管造影検査やCT装置を利用したインターベンシヨナルラジオロジー(IVR)にも対応しています。

核医学部門では、各種核医学検査はもとより、脳や心臓の機能検査も行っています。また当科ではがんの最新検査法としてFDG-PEETを導入し、病変部の特定や正確な病期診断に大きな期待が集まっています。

放射線治療部門においては最新の機種を備え、病気によっては手術に代わる治療として、関連各科との協力のもと集学的治療を行っています。



京極 伸介 小川 正一

産科・婦人科

科長 中村 靖



池田 申之 高橋 晃 中村 靖 曾根 淑恵

産科領域では、立会い出産、カンガルーケアを積極的にすすめ、温かみのあるお産をめざします。また、超音波診断に専門性を発揮しています。普通のお産はもとより、いろいろな合併症をお持ちの妊婦さんに対して、関連各科と連携しつつ妊娠管理をすすめていけることが、総合病院のメリットです。

婦人科領域では、腹腔鏡手術・開腹手術のいずれにおいても、体への負担が少なく、安全性の高い手術方法・麻酔方法・術後管理法を選択しています。また手術後の傷ができるだけきれいになる縫合方法を行っています。女性の体のマイナートラブルから、がん治療まで幅広く対応します。丁寧な外来診療と、明るくアットホームで居心地の良い入院診療とで、患者様のニーズにお応えします。

麻酔科・ペインクリニック

科長 菊地 利浩

当院では麻酔科は麻酔科・ペインクリニックと標榜しております。これは我々の本来の業務内容として、手術室の中の麻酔管理と痛みの治療であるペインクリニックがあることを表しております。当院では現在月に150～160件の手術があり、そのうち100～120件の麻酔管理を2名のスタッフで担当しております。



菊地 利浩 熊倉 誠一郎

リハビリテーション科

科長 黒須 昭博

リハビリテーション科は、現在医師1名、理学療法士4名、言語聴覚士1名の総勢6名で治療に当たっています。当科は開院当初、入院患者の急性期治療を対象として作られたため規模としては小さいですが、他科からの依頼があれば、必要に応じて外来患者でも治療を行うようにしております。

当科は主として、脳神経内科・外科、整形外科の疾患を対象とし、運動障害、失語症および構音障害、嚥下障害等の治療を行っております。特に脳神経疾患に対してはボバースアプローチによるリハビリテーションを行っており、個々の疾患およびその時々の症状に沿ってプログラムを作成し治療に当たっております。『より良い医療を受けられた方々が、ご自宅でもより良い生活を送って頂けるために』を目標に、日々努力しております。



濱 秀憲 黒須 昭博 山形 哲行
佐々木 亜由美 石田 利江 佐藤 広美

担当する手術は外科・整形外科・脳外科・産婦人科・眼科・耳鼻科・小児外科・泌尿器科・形成外科と多岐に渡っております。

このように現状では手術室運営がメインの業務となっております関係上、ペインクリニック外来は未だ開設するに至っておりません。患者様にはご迷惑をお掛けしておりますが、なるべく早くにペインクリニック業務を行えるよう努力していく所存でございますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

臨床病理科

……科長 江口 正信



江口 正信

福村 由紀

臨床病理科はどんなことを行っている部署だろうか？と思われる方が大多数だと思います。臨床病理科は主に病理組織検査や細胞診検査を取り扱っている部署です。例えば病理組織検査では、胃や大腸の内視鏡検査などで、患者様よりごく小さな組織片(数ミリ程度)を病変部より採取し、顕微鏡で観察可能な標本を作り、癌などの悪性病変か、良性病変あるいは炎症のみによる変化か、などの診断を下します。

細胞診検査では婦人科疾患や痰・尿の中の細胞の形態から、癌や良性腫瘍のふりわけなどを行っています。以上は組織・細胞診検査のほんの一部に過ぎませんが、患者様の治療方針を決定する場合に重要・不可欠な検査であり、練馬病院では2名の病理専門医が常勤し、また臨床検査科に属する検査技師(細胞検査士の有資格者を含む)と協力し、患者様が安心して治療を受けることができるよう、全力で臨床各科をサポートしています。

さらにセカンドオピニオンとしての病理検査のご依頼、ご質問などにも対応致しますので、ご遠慮なく申しつけください。

救急・集中治療科

……科長 杉田 学

救急・集中治療科には3人のスタッフ医師がおり、24時間・365日体制で治療を行っております。救急車で搬送される重症な救急患者様を中心に、救急外来から入院治療までを担当します。特に集中治療室内では最新の医療機器を用いて様々な最先端の治療が行うことができ、他院からご紹介いただいた様々な病気にも対処が可能です。

当院は災害拠点病院に指定されており、病院施設も最新の免震構造を備えておりますので大きな災害が発災した際には地域の医療の核となること予想されます。

当科の科長である杉田医師は災害医療の専門で、先日のパキスタン大地震の際には日本政府の要請を受け、国際救助隊の一員として直ちに現地へ赴きました。



深田 浩大

杉田 学

鈴木 俊繁

野村 智久

杉田 学
救急専門医、集中治療専門医、内科学会認定内科医、ICD(感染制御医)
専門:救急医学、集中治療医学、災害医学

野村 智久
救急専門医、外科専門医、内科学会認定内科医
専門:救急医学、外傷外科学

鈴木 俊繁
外科専門医
専門:救急医学、消化器外科学

▼ 待合いホール

ゆるやかな曲面天井で落ち着いた雰囲気
を醸し出しています。



▶ 4階小児病棟

油性クレヨンなどを使って描かれた。
島田精治氏作。



地域に愛される、 優しい病院づくり に尽力します。

順天堂大学医学部附属練馬病院がオープンして、6カ月近く経ちました。
地域の皆様に愛される病院を目指して、スタッフ一同全力で医療活動に努めています。
病院を訪れた方が、心身癒されるように当院は設計されています。
ここでは、当院の特長をご紹介します。

心と体の癒し空間をつくる

当院は訪れる人を優しくいたわり、ホスピタリティを感じる空間をつくりだしています。

患者様が訪れる外来空間は、エントランスから診察室までの流れをわかりやすく、ゆったりと移動できるように設計しました。

例えば、1階エントランスロビーと2階受付ホールは「広場」、2階外来診療外待合は「街の大通り」、各外来ブロックの中待合は「街のストリート」といったイメージを持たせました。また、吹き抜け空間のロビーやラウンジの壁にアートワークを施し、ゆったりと落ち着けるように配慮しています。

アートワークのテーマは「生きる喜びと励まし」です。明るく元気あふれる作品が配置されていますので、ぜひご覧ください。



▶ 2階待合いのアート

明るく元気の出る色調とテクスチャーで太陽や生き物の命の喜びを表現した楽しい陶版画。「太陽のように」吉武研司氏作。



病棟では、小児病棟のインテリアをペインティングアートと一体となった明るく元気がでるイメージに創り出しています。地域の皆様に心地よく過ごしていただけるように、これからも空間づくりに配慮してまいります。



日の丸を背負って、 パキスタン大地震の 救援活動に 参加して来ました!

救急・集中治療科
杉田 学



傷病者の治療や、怪我や病気をした隊員の治療・健康管理に携わりました。日本チームの活動拠点として現地政府に依頼された場所は、バトグラムという標高1500mの都市で、山間の集落が点在する厳しい場所でした。連日テントで野営、食料はほとんど日本から持ち込んだ非常食と過酷な環境での作業を強いられました。ホテルに宿

泊し、十分な食料がある都市部で活動していた他国の救助隊が、倒壊建物から生存者を救出したという情報がくるたびに複雑な気分となりましたが、現地の被災者に大きく感謝され胸を張って帰国しました。

TOPICS!

順天堂
練馬病院

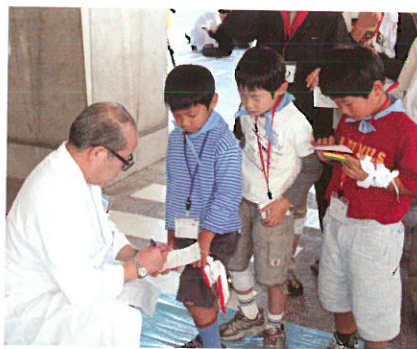
去る10月8日朝に起きたパキスタン大地震は皆さんの記憶にも新しいものだと思います。この地震はM7.7、パキスタン全土で300万人以上が被災し、8万人以上が死亡している同国史上最大のものです。日本政府はいち早く緊急援助隊の派遣を決定し、翌9日朝には消防・警察・海上保安庁、3庁合同のレスキュー隊を中心とした総勢約50名のJICA国際緊急援助隊の救助チームが成田空港から出発し、18日までの10日間現地で救助・救援活動を行いました。

私はこのチーム帯同の医師としてJICAから指名され、救出した

防災 訓練

10月23日(日)、地域との合同防災訓練を実施!

当院は、災害拠点病院として災害時の地域に貢献する役割を持っています。10月23日には練馬区との大規模な合同防災訓練を行いました。私も災害医学の専門家として、今回の国際派遣の経験を生かし、当院を取り巻く地域の災害医学の充実にこれからも貢献していきたいと思っております。



画家の皆様へ感謝

当院には、下記の御高名な当地在住の画家の皆様から、数多くの絵画の寄贈を頂きました。厚く感謝申し上げます。

(アイウエオ順)

伊藤深游木・今井美弘・梶田達二・川田 幹・小林 煌・さとうふみたか
志賀 詠・柴崎美恵子・清水朋江・鈴木政輝・谷内六郎・土井邦晃・戸狩公久
戸木田愛子・中村 伸・永田哲郎・西原千司・橋本紀子・藤田英子・松下宣廉
三輪敦子・森脇正人・山川末子・藪内佐斗司

発行：順天堂練馬病院

編集：事務部総務課

住所：東京都練馬区高野台3-1-10

TEL.03-5923-3111(代)

URL:<http://www.juntendo-nerima.jp>